政策シート

(政策名) “まち”と“むら”をつないで実現する中山間地域の振興
(予算費目名) 中山間地域振興費

(総合計画体系)

「分野」	地方自治・都市経営
30年後の姿	協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

◇政策の概要

市内の中山間地域と都市部の交流(市内間交流)を核として、様々な交流機会を創出する。交流を深めることで連携・協働による地域の自立を促進するとともに、交流をきっかけとして、地域に継続して関わる者や移住者を増加させることで中山間地域の振興を実現する。

また、移住コーディネーターとの連携により都市部から中山間地域への移住・定住を促進するとともに、中山間地域に暮らし続けることができる環境づくりのため、地域主体によるまちづくりへの支援や新たな仕事づくりの研究等を進め、地域主体による持続可能なまちづくりに結びつける。

◇関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用	⑩都市	⑰実施手段							
--------	-----	-------	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	249,899	335,657				
決算	230,014					
人件費(A)	36,680	36,680				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	266,694	372,337				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
中山間地域の人口減少率 (本年人口÷前年人口×100-100)	%	目標	-2.25					-1.8
		実績	-2.43					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

市内の中山間地域と都市部の様々な交流(市内間交流)事業を展開して、数多くの交流機会を創出することができた。交流を深めることで連携・協働による地域の自立を促進した。

移住コーディネーターとの連携や田舎の情報スポット「キラ☆クニ」事業の積極的な展開により移住・定住を促進するとともに、中山間地域に暮らし続けることができる環境づくりのため、地域主体によるまちづくりへの支援を行うとともに、新たな仕事づくりの研究としてアワビ陸上養殖の実証実験を進め、事業化を見据えた動きができた。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
<p>ザ・山フェス等に加え、昨年度から開始したおとな交流や山の匠体験事業等を継続し、数多くの交流機会を提供した。「あらたな仕事づくり研究事業」では、陸上養殖設備を拡充するとともに、KDDI株式会社との連携に基づくICTを活用した実証実験を開始した。移住コーディネーターとの連携やWelcome集落の活動等により中山間地域への移住を促進できた。今後は、新たな仕事づくりのため、地域団体等との連携して地域資源を活用した地域振興の調査研究やアワビ陸上養殖の主体変更を行うとともに、中山間地域まちづくり事業の一層の有効活用を図るなど、交流から連携へ移住から定住へと結びつけ、地域や民間主体による持続可能なまちづくりを推進する必要がある。また、中山間地域と多様に関わる都市部等の人々が、中山間地域の問題意識を共有し、連携して課題解決に取り組むきっかけづくりを行う必要がある。</p>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	市内間交流事業	○	○			27,273	17,473	1.2			0.5
2	居住促進事業	○	○	○		7,649	5,269	0.3			0.1
3	生活支援事業	○	○			56,606	46,526	1.4			0.1
4	中山間地域まちづくり事業	○	○	○		106,707	100,407	0.9			
5	中山間地域コミュニティビジネス 起業資金貸付事業	○	○			5,700	5,000	0.1			
6	過疎地域自立促進事業基金 積立金(一般諸経費のみ)					159,308	159,028				0.1
7	中山間地域振興運営経費(一 般諸経費のみ)					9,094	1,954	0.9			0.3
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						372,337	335,657	4.8			1.1

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 市内間交流事業

◇事業目的・事業対象

中山間地域振興のため、多くの市民の中山間地域に対する関心を高めるよう、中山間地域と都市部の交流促進を図る。

◇事業の概要

- 子ども中山間地域交流事業(都市部小学生と中山間地域住民等との交流)
- おとな中山間地域交流事業(都市部の地域活動に取り組む大人と中山間地域住民等との地域間交流)
- ザ・山フェス開催事業(やまとまちのコラボによる山の魅力体感イベント)
- 交流促進事業
 - ・中山間地域交流ツアー(都市部小学生親子を対象に中山間地域の魅力を紹介するバスツアー)
 - ・まちむらりレーション市民交流会議(オール浜松で中山間地域の可能性を考えるシンポジウム、中山間地域住民・中山間地域出身者・中山間地域に関心を持つ都市部在住者等とをマッチングする応援隊事業)
 - ・中山間地域ラジオ発信事業(都市部へ中山間地域の暮らしや観光、イベント情報を発信)
 - ・中山間地域山盛りアドベンチャー事業(中山間地域をクイズラリー形式により巡る自由参加型イベント)
 - ・山の匠体験事業(都市部住民が中山間地域の生業を体験する)
 - ・中山間地域特産品プロモーション事業(中山間地域の特産品を都市部へPR、バイヤー等とのマッチング)
 - ・中山間地域交流ネットワーク事業(H29～市民協働センター指定管理自主事業:都市部ボランティアと中山間地域団体との交流マッチング)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S37	-	一般会計	自治事務	過疎法、辺地法	○	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	16,081	17,473				
	決算	12,015					
	国・県支出						
	市債						
	その他	6,000	10,000				
人件費(報酬等)(千円)	一般財源	6,015	7,473				
	一般会計繰入金						
	人件費(千円)	9,800	9,800				
人工	正規	1.2	1.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	○ 17.17
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ⑩ 中山間地域と都市部との交流を促進することにより、地域間の関わりが深まり、経済や社会、環境面等において良好なつながり(連携)が生まれる。
- ⑰ 中山間地域と都市部との交流を促進することにより、地域間において、地域や官民連携による取組みが推進される。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
市が実施する交流事業の回数(回)					-	Ⅲ-2(3)イ	-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	23	24	30	30	30	30	30
実績値	30	30					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 子ども中山間地域交流事業(都市部小学生と中山間地域住民等との交流)
- おとな中山間地域交流事業(都市部の地域活動に取り組む大人と中山間地域住民等との地域間交流)
- ザ・山フェス開催事業(やまとまちのコラボによる山の魅力体感イベント)
- 交流促進事業
 - ・中山間地域交流ツアー(都市部小学生親子を対象に中山間地域の魅力を紹介するバスツアー)
 - ・まちむらりレーション市民交流会議(オール浜松で中山間地域の可能性を考えるシンポジウム)
 - ・中山間地域ラジオ発信事業(都市部へ中山間地域の暮らしや観光、イベント情報を発信)
 - ・中山間地域山盛りアドベンチャー事業(中山間地域をクイズラリー形式により巡る自由参加型イベント)
 - ・中山間地域応援隊事業(中山間地域出身者など中山間を応援する者を創出する)
 - ・山の匠体験事業(都市部住民が中山間地域の生業を体験する)
 - ・中山間地域特産品プロモーション事業(中山間地域の特産品を都市部へPR、バイヤー等とのマッチング)
 - ・中山間地域交流ネットワーク事業(H29~指定管理自主事業:都市部ボランティアと中山間地域との交流マッチング)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・子ども中山間地域交流事業やザ・山フェス開催事業のほか、市民協働センターによる中山間地域交流ネットワーク事業を実施した。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、山の匠体験事業全4回のうち1回、特産品プロモーション事業は中止した。

【R1年度実績】30回+ラジオ番組週2回

子ども中山間地域交流4回、おとな中山間地域交流6回、ザ・山フェス開催1回、中山間地域交流ツアー1回、まちむらりレーション市民交流会議1回、中山間地域交流ネットワーク12回、山盛りアドベンチャー1回、中山間地域応援隊1回、山の匠体験3回、中止(山の匠体験1回、中山間地域特産品プロモーション1回) 中山間地域ラジオ発信業務毎週2回放送

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、山の匠体験事業全4回のうち1回、特産品プロモーション事業は中止したが、その他の事業は計画通り実施し、数多くの市内間交流を提供した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・市内間交流の促進は、今後も事業を充実していく必要があり、現行事業をより効果的な内容に再構築していく。
・交流から連携へと関わりが深まるよう、中山間地域と多様に関わる都市部等の人々が、中山間地域の問題意識を共有し、連携して課題解決に取り組むきっかけづくりを行うなどの施策を実施していく。

事業シート (事業名) 居住促進事業

◇事業目的・事業対象

中山間地域の振興のため、中山間地域の集落機能が維持できるよう、都市部からの移住・定住の促進を図る。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目 No.192】

- Welcome集落事業(移住者を受け入れる集落側の活動に対する報償費:移住実績1人につき10万円)
- 田舎暮らしお試し住宅事業(移住希望者が短期体験居住するためのお試し住宅の運営)
- Welcome集落移住促進空き家活用事業(移住者への空き家の提供に対する報償費:1件につき20万円)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S37	-	一般会計	自治事務	過疎法、辺地法	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	5,269	5,269				
	決算	2,813					
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,400	5,065				
	一般財源	1,413	204				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		2,380	2,380				
人工	正規	0.3	0.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	○ 17.17
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ⑪ 地域の担い手となる移住者の増加を図ることにより、住み続けられる環境づくりを促進する。
- ⑰ 地域住民の支援活動による移住の促進により、移住者と地域住民の良好な協力関係を実現する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
市の事業を活用した中山間地域への年間移住者数(人)					Ⅲ-2(3)イ	Ⅲ-2(3)イ	192
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	19	30	31	32	33	34	35
実績値	27	21					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 【R1-R4重点戦略項目 No.192】
- Welcome集落事業(移住者を受け入れる集落側の活動に対する報償費:移住実績1人につき10万円)
 - 田舎暮らしお試し住宅事業(移住希望者が短期体験居住するためのお試し住宅の運営)
 - Welcome集落移住促進空き家活用事業(移住者への空き家の提供に対する報償費:1件につき20万円)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・市の事業を活用した中山間地域への年間移住者数は、目標の30人に対して21人の実績であるが、相談件数は、平成30年度724件から令和元年度840件へと着実に伸びており、最終年度の目標値、年間移住者数35人に向け、取り組んでいく。
- ・中山間地域の移住の促進には、地域住民による移住者受け入れ活動が重要であり、今後Welcome集落の登録自治会を増加させていく必要がある。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・移住者受入れ活動を行うWelcome集落について、新たに3自治会が登録となり、合計17自治会(地区連合会含む)が登録集落となった。(単位自治会数31/中山間地域の単位自治会数183=16.9%)
- ・移住促進を目的とした空き家の活用として平成30年度から開始した、所有者に対して空き家の提供を促すWelcome集落移住促進空き家活用事業について、令和元年度に4件の活用があった。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

中山間地域への移住を促進し、地域の担い手となる移住者の確保には、地域住民による受入れ活動が重要である。区・協働センター及び移住コーディネーターと連携してWelcome集落への登録を呼びかけるとともに、登録集落の移住者受け入れ活動を後押ししていく。

補助シート (事業名) 居住促進事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
192	市の事業を活用した中山間地域への年間移住者数(30人)	市の事業を活用した中山間地域への年間移住者数(31人)	市の事業を活用した中山間地域への年間移住者数(32人)	市の事業を活用した中山間地域への年間移住者数(33人)

事業シート (事業名) 生活支援事業

◇事業目的・事業対象

中山間地域の集落機能の維持、向上のため、外部人材の積極的な活用や地域の新たな産業創出の可能性の研究等を行い、地域の活性化を図る。

◇事業の概要

- 浜松山里いきいき応援隊活動事業(地域おこし協力隊を採用・配置し地域振興や生活支援のため活動させるもの)
- 乗用モノレール整備等助成事業(公道から自宅まで乗用モレールを設置する補助金:事業費の1/2、上限140万円)
- 原材料支給事業(天竜区内で地域自ら行う道路補修等に対してコンクリート等の原材料を支給するもの)
- 中山間地域あらたな仕事づくり研究事業(事業化を目指し行う、研究・実証実験)
 - ・「山の宝」を活用した地域振興の調査、研究
 - ・ドローン、AI等の最新技術を活用した方策の調査、研究

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S37	-	一般会計	自治事務	過疎法、辺地法	○	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	49,139	46,526				
	決算	42,042					
	国・県支出						
	市債						
	その他	9,700	1,000				
一般財源		32,342	45,526				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		10,080	10,080				
人工	正規	1.4	1.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.3	⑰ 実施手段	○ 17.17
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ⑧⑩地域住民や民間事業者との協働により、新たな産業の創出や新技術を活用することで持続可能な生活環境を確保する。
- ⑪地域おこし協力隊等の外部人材の活用により、集落機能の維持、向上を図ることで持続可能な地域づくりを促進する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
山里いきいき応援隊の隊員数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	18	12	12	12	15	15	18
実績値	12	11					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
新たな仕事づくり事業数累計(事業)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	3	3	3	3	4	4	5
実績値	2	2					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
市の事業を活用した中山間地域への年間移住者数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	19	30	31	32	33	34	35
実績値	27	21					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 浜松山里いきいき応援隊活動事業(地域おこし協力隊を配置し地域振興や生活支援のため活動させるもの)
- 乗用モノレール整備等助成事業(公道から自宅まで乗用モノレールを設置する補助金:事業費の1/2、上限140万円)
- 原材料支給事業(天竜区内で地域自ら行う道路補修等に対してコンクリート等の原材料を支給するもの)
- 中山間地域あらたな仕事づくり研究事業(事業化を目指し行う、研究・実証実験)
 - ・アワビ陸上養殖やドローンを活用した実証実験

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・山里いきいき応援隊活動事業は、隊員数目標(定員)12人に対し、最大11人確保できた時期もあった。
- ・隊員確保のため、東京開催のふるさと回帰フェアに出展したり、民間マッチングサイトを活用するなど募集活動を行い、令和2年4月に2人の新規隊員を確保した。
- ・乗用モノレール整備等助成事業では、1件申請があり乗用モノレール設置者に補助金を交付した。
- ・あらたな仕事づくり研究事業では、平成27年度からのアワビ陸上養殖の実証実験を継続し、設備を拡充するとともに、KDDI(株)との協定によりICTを活用した実証実験を開始した。また、浜松医科大学と(株)イームズラボとの協定によりドローンを活用した医薬品等の運搬の実証実験では、平成31年3月の実験で技術的な課題を解決した。今後、法規制など国の動向を注視していく。
- ・市役所業務等へのドローンの利活用を図るため、市職員(12部局20課24人)を対象にドローンスクールを開催した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・山里いきいき応援隊は、隊員確保に向け、民間マッチングサイトや首都圏の説明会で活用するなど幅広くPRし、最大11人の隊員を確保した。
- ・アワビ陸上養殖は、大型ろ過槽を導入するなど設備を拡充するとともに、ICTを活用した実証実験を開始した。
- ・ドローンスクールでは、12部局20課24人が参加し、ドローンを安全かつ適切に運用するための基礎的な技術・知識の習得をすることができた。

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・山里いきいき応援隊は、隊員確保に向け、民間マッチングサイトや首都圏の説明会、隊員OBOGのネットワークを活用するなど積極的に募集していく。
- ・あらたな仕事づくり研究事業は、地域団体等と連携して研究会を設置し、「山の宝」である地域資源を活用した地域振興の調査研究を行うとともに、アワビの陸上養殖事業については、地域組織に事業主体を変更し、ICTを活用した水質管理等の技術的な支援を行う。
- ・ドローンの利活用は、中山間地域の振興のための調査研究は継続し、ドローンスクールは全庁的に機運の醸成を高める取組みができ、初期の目的は達成したため終了する。
- ・乗用モノレール整備等助成事業は、生活条件の改善を図るため採択基準等の見直しを検討する。

令和2年度

(管理番号)

(担当課)

(責任者)

(基準日)

07 02 02 01 000610000 04

市民協働・地域政策課

藤田 裕

令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 中山間地域まちづくり事業

◇事業目的・事業対象

中山間地域に生活する市民が、自ら発案し、行動することによって、地域の活性化に寄与できるように、地域の実情に詳しい住民と行政などが協働による地域づくりを推進する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目 No.192】

○中山間地域まちづくり事業

中山間地域で活動するNPO法人等が、中山間地域振興計画の趣旨に沿った地域課題を解決する事業を提案し、市の交付金を受けて実施する事業

交付金交付割合10/10

交付上限額

1千万円(中山間地域のNPO法人、中山間地域のNPO法人等と連携協定を結ぶ大学・都市部NPO法人)

5千万円(活動地域の住民の概ね1/4以上が会員となっている中山間地域のNPO法人)

○まちづくりスクールin里山

地域づくりに取り組む中山間地域のNPO法人を対象に、地域づくりの実践の参考になる講義や事例をスクール形式等で実施する事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H24	R3	一般会計	自治事務	-	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	18,407	100,407				
	決算	17,770					
	国・県支出						
	市債						
	その他	17,721	100,000				
	一般財源	49	407				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		6,300	6,300				
人工	正規	0.9	0.9				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	○ 17.17
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

⑩⑰地域住民と行政等との協働により、持続可能な生活環境を確保する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
中山間地域まちづくり事業採択事業累計(事業)					-		192
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	20	19	20	21	22	23	25
実績値	17	19					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

<p>○中山間地域まちづくり事業 中山間地域で活動するNPO法人等が、中山間地域振興計画の趣旨に沿った地域課題を解決する事業を提案し、市の交付金を受けて実施する事業</p> <p>○まちづくりスクールin里山 地域づくりに取り組む中山間地域のNPO法人を対象に、地域づくりの実践の参考になる講義や事例をスクール形式等で実施する事業</p>

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p style="text-align: center;">計画通り</p> <ul style="list-style-type: none"> 中山間地域まちづくり事業の採択事業累計は、目標19事業に対し19事業であり、目標を達成した。 令和元年度は申請2件に対し、2件とも採択した。 まちづくりの取組みの知識を深めるとともに、中山間地域まちづくり事業を周知するため、中山間地域のNPO法人等を対象とした取組み事例を踏まえた研修会(まちづくりスクール)を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した。 中山間地域の課題解決のため創意工夫を生かした事業提案がされるよう、一層の活用促進を図る必要がある。
--

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・当課及び協働センター職員による相談、助言を行った。
- ・事業申請は2件あり、審査会を経て2件を採択した。
- ・地域密着型で活動する中山間地域のNPO法人が、公共の担い手として地域課題に長期に取り組めるよう、事業期間の延長や交付限度額の引き上げを行う制度改正を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き、中山間地域のNPO法人等に対し、地域課題解決のため創意工夫を生かした事業提案がされるよう「まちづくりスクールin里山」を開催するとともに、区役所・協働センター職員等による伴走型支援を行っていく。
- ・中山間地域に類する地域の振興については、他地域との均衡に配慮し、中山間地域まちづくり事業の対象にするなど方策を検討していく。

補助シート (事業名) 中山間地域まちづくり事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
192	中山間地域まちづくり事業採択事業累計(19事業)	中山間地域まちづくり事業採択事業累計(20事業)	中山間地域まちづくり事業採択事業累計(21事業)	中山間地域まちづくり事業採択事業累計(22事業)
〇〇				

事業シート (事業名) 中山間地域コミュニティビジネス起業資金貸付事業

◇事業目的・事業対象

中山間地域の振興のため、中山間地域の生活環境改善と、移住者の就労機会促進による定住支援を図る。

◇事業の概要

○中山間地域コミュニティビジネス起業資金貸付事業

中山間地域に移住してコミュニティビジネスを起業しようとする方に、起業にかかる初期投資費用を100万円を限度に貸し付けるもの。ただし、貸付を受け3年間定住して事業を継続した場合、返済を免除する。(対象者:これから中山間地域に移住しようとする方、又は移住して3年以内の方。)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	-	一般会計	自治事務	中山間地域コミュニティビジネス等起業資金貸与条例	○	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	5,000	5,000				
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他		3,000				
	一般財源		2,000				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		700	700				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.3	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ⑧コミュニティビジネスの起業支援により、中山間地域での移住者の起業を促進する。
 ⑩コミュニティビジネスの起業支援により、中山間地域への移住及び住み続けられる環境づくりを促進する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
貸付事業を活用した起業件数累計(件)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	20	12	14	18	22	26	30
実績値	7	7					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

○中山間地域コミュニティビジネス起業資金貸付事業
 中山間地域に移住してコミュニティビジネスを起業しようとする方に、起業にかかる初期投資費用を100万円を限度に貸し付けるもの。ただし、貸付を受け3年間定住して事業を継続した場合、返済を免除する。(対象者:これから中山間地域に移住しようとする方、又は移住して3年以内の方。)

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

- ・令和元年度は3件の相談に対し、1件の申請であったが、起業計画が不十分であったため、取り下げられた。そのため目標起業件数累計の20件に対し、7件と遅れている。
- ・平成27年度から令和元年度までの5年間で、相談は31件あったが、最終貸与まで進んだものは7件となっている。相談に対しコミュニティ担当職員や起業家カフェなどを利用した伴走型支援で、いかに申請につなげるかが課題である。
- ・移住相談やプロモーションにおいて、本事業を移住促進策のひとつとして有効に活用していく必要がある。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・令和元年度は、1回の募集を行ったが、採択にいたらなかった。
- ・事前相談は3件あったが、起業計画が十分でなく申請に至らない又は申請しても取下げとなった。
- ・平成27～30年度に採択した7事業について、順調に実施されている。(うち3事業返済免除)

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・これまでの貸与実績を分析すると、この制度の利用者の8割以上が市内居住者である。そこで、市内移住者も視野に入れ、移住後3年以内の者や山里いきいき応援隊等対象者に制度を広く周知するなど、活用を促していく。
- ・引き続き、中山間地域への移住のインセンティブとなるよう、首都圏での移住相談会でPRし、制度利用者の増加を図る。
- ・地域課題の解決に向けた起業及び移住・定住を、コミュニティ担当職員等と連携し支援していく。

事業シート (事業名) 過疎地域自立促進事業基金積立金(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	154,028	159,028				
	決算	154,027					
	国・県支出						
	市債	154,000	159,000				
	その他	27	28				
	一般財源						
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		280	280				
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 中山間地域振興運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,975	1,954				
	決算	1,347					
	国・県支出						
	市債						
	その他	284	269				
	一般財源	1,063	1,685				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		7,140	7,140				
人工	正規	0.9	0.9				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.3	0.3				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工